



# まちがい5

今回のテーマ  
**安部山公園のサクラ**

イラストのAとBを比べて、違っている部分を見つけてください。  
間違いは全部で5つ(5画面)です。  
※印刷のにじみや、画面番号による消えなどは含みません。

**応募方法**  
応募は、はがきに、間違っている画面番号と、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だよりの感想などを書いて、次の応募先へ。ネットも可。正解者の中から抽選で10人に図書カードを進呈します。

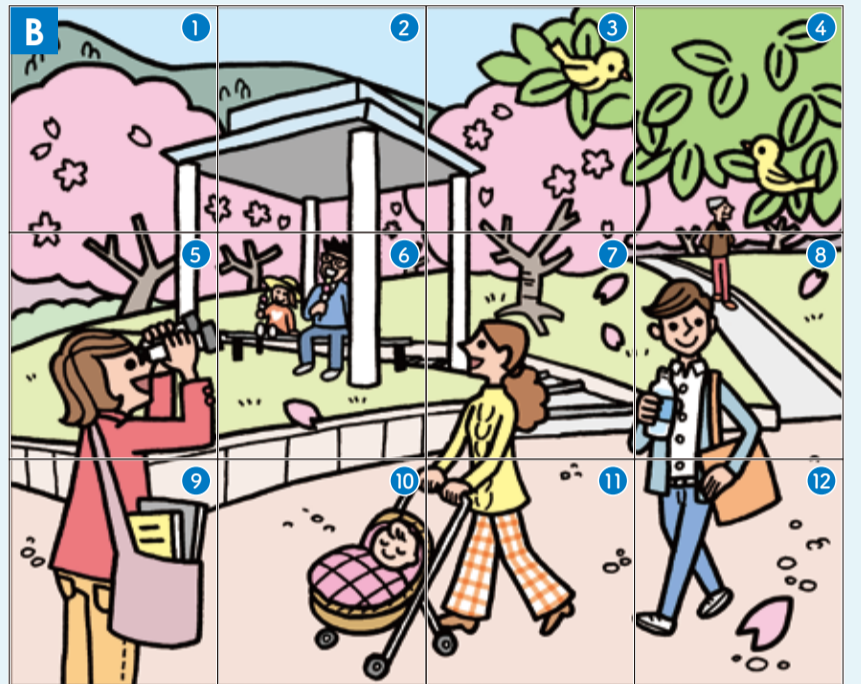
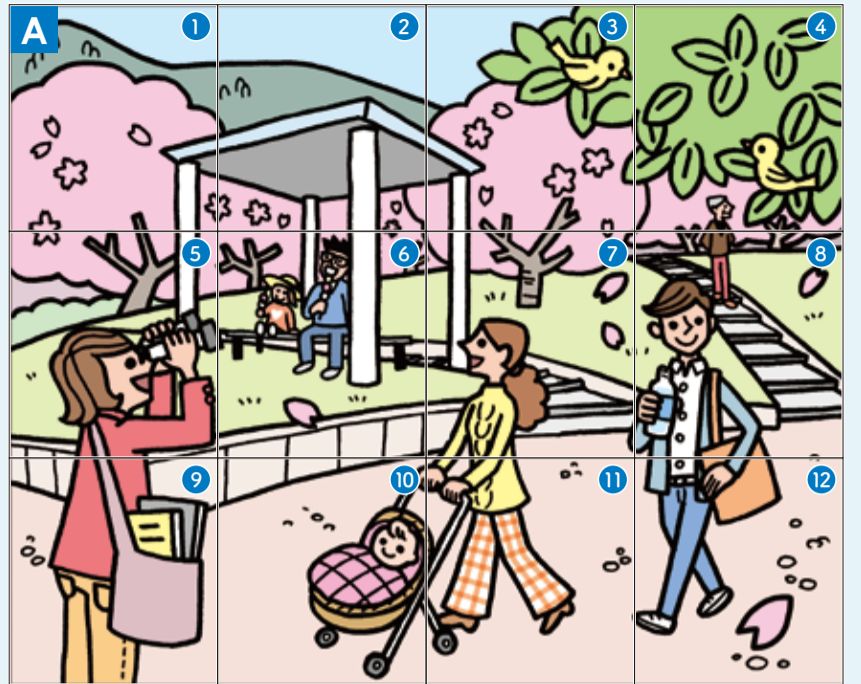
**応募先**  
〒803-8501 広報室広報課  
「まちがい5」係  
(☎582・2236)

応募締め切り  
**4月5日**※必着

インターネットからの申し込み(電子申請)  
北九州市 ネット窓口



**3月1日号の答え**  
【5つの間違い】①③⑦⑧⑨  
①窓の棧  
③ぼんぼりと電球  
⑦ひな道具(火鉢)の数  
⑧女性の腕の位置  
⑨女性が靴下を履いている・いない  
※当選者の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。  
**応募総数 934通**



## 今からできるSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年に向けてより良い社会を作っていくための世界共通の目標です。目標の達成には、私たち一人一人の行動が大切です。このコーナーでは、SDGsの達成に向けて積極的に行動している人たちを紹介します。



### Vol.12 北九州市立高等学校

北九州市立高等学校の令和5年3月の卒業生が、高校入学時から進めてきた「SDGsプロジェクト」は、教科の枠を超えた「総合的な探究の時間」を活用した取り組みです。昨年末には、3年間の活動内容を「北九州SDGsステーション」のプレオープン記念式典で発表しました。その日、学年を代表して壇上に立った笠原綾乃さんと畠山満暉さんにお話を伺いました。



◀ 笠原綾乃さん(左)と畠山満暉さん(右)

### いつも心にSDGsを。日々の気づきと行動が、世界を変える

SDGsプロジェクトは、令和5年3月の卒業生が、高校入学時から学年全員で進めてきた活動です。1年生ではSDGsの17の目標について学習し、2年生ではSDGsのカルタやエコバッグ製作など、クラスごとに「高校生の私たちにできるSDGs」を考え実践しました。3年生では社会に目を向け視野を広げるために、SDGsに積極的に取り組む市内企業に講演を依頼し、話を伺いました。また、昨年末にあった北九州SDGsステーションプレオープン記念式典では、今までの集大成として、これまでの活動を発表しました。「発表者には市内の小・中学生のグループもいて、僕たちも負けていられないと思いました」と畠山さん。笠原さんは「これからは市民センターや公民館などで、地域の皆さんに私たちが学んだSDGsの意義を伝える機会が増えれば」と今後の思いを語ってくれました。最後に2人は、「一人一人が、日常生活の中で『これってSDGsにつながっているの?』など疑問を見つけ、周囲の人と話し合い、いつもSDGsを意識して生活していくことが大事」と話してくれました。 問 教育委員会学校教育課 ☎582・2368

※広告内容は北九州市とは直接関係ありません。